



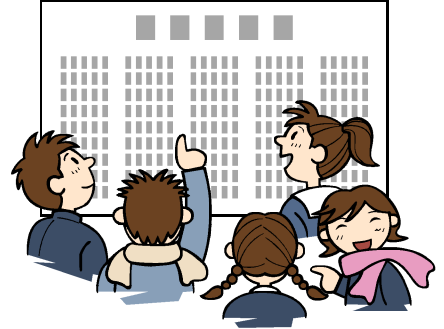
35期生入試結果速報

共通テスト受験者は減少

1月13, 14日に実施された大学入学共通テストは、全国で45万人余りが受験しました。少子化の影響で徐々に出願者は減少しています。

出題傾向・形式は昨年から大きな変化はなく、「知識・技能」に限らず「思考力・判断力・表現力」を問う出題が目立ちました。

教科・科目別では「英語リーディング」「数学ⅠA, ⅡB」の平均点がダウンしたものの、「国語」のアップなどもあって、5教科7科目型平均点は文系・理系ともにアップしました。(文系+5.3点 理系+7.2点 河合塾調べ)



35期生 前期合格率は51.8% ～鹿児島大は64名～

この春卒業した35期生は、国公立大前期日程を137名が受験、このうち71名が合格しました。前期の合格率は51.8%と極めて高いものでした(例年は40%前後)。A, B判定はもちろん、C, D, E判定から合格を勝ち取った人も多く、地元の鹿児島大学には推薦合格者を含めると64名が合格しました。

中期日程(3月8日)、後期日程(3月12日)では、10名が合格し、この結果、国公立大学合格者数は111名となりました。

合格の秘訣は基礎学力の定着と最後まで粘り抜く気持ち

3月13日には受験報告会が開催され、卒業生から在校生へ受験校決定の時期、効果的な学習法などアドバイスが送られました。報告会を聞いた1, 2年生の声を一部掲載します。

- ・模試の復習について、私は今まで解説を読み込んでいなかったため、今後の学習法として取り入れたい。受験まで1年を切り焦りを感じつつ、どうすれば良いかわからなかったが、この時期に先輩方の貴重なアドバイスを聞いて良かった。1年後、私も後輩に頑張ったと言えるようにしたい。
- ・大学選びのポイントとして「何が学べるか」「どのような教授がどんな研究をしているか」という視点をもって、オープンキャンパスやイベントに参加してみたいと思った。

【35期生 合格状況】(3月22日現在 国公立大のみ)

国立大学	総・推	前期	中・後	合計	公立大学	総・推	前期	中・後	合計
茨城大学	1			1	福知山公立大学		1		1
岐阜大学	1			1	島根県立大学		1		1
山口大学	1	1		2	下関市立大学	1		1	2
福岡教育大学		2		2	北九州市立大学	1	2	1	4
佐賀大学		1		1	福岡県立大学		2	1	3
長崎大学	1			1	福岡女子大学		1		1
熊本大学		1		1	長崎県立大学	1	5		6
大分大学		1		1	熊本県立大学			1	1
宮崎大学		3	1	4	宮崎県立看護大学		1		1
鹿児島大学	21	39	4	64	宮崎公立大学	1	5	1	7
琉球大学		4		4	名桜大学	1	1		2
合計	25	52	5	82	合計	5	19	5	29

在校生へのアドバイス ～受験体験記から抜粋～

先輩方の生の声です。1、2年生の皆さんには、とても現実的で響くと思います。

- ・「強い思いは届く」…諦めずに結果が出るまで努力を続ける。(特に夏まで部活が続く後輩へ)
- ・「毎日の小さな習慣が大きな壁を乗り越える」(例;英単語, 古文単語, リスニング)
- ・「国語と英語は9月までが勝負」…冬に理・社の実力養成に時間を割ける。
共通テストのD,E判定を挽回するために二次科目の記述力は不可欠。
- ・部活動を引退してから, 毎日教室で7時頃まで残って勉強した。教室の鍵を閉めるとき「この教室では僕が一番勉強したな」と小さな達成感を感じていた。変な達成感だが, 今思えばこの積み重ねが自分の自信となった。
- ・模試や演習では自分が見落としとしてしまいがちな重要ポイントがたくさんあるため, 教科ごとの「要点ノート」を作ることをお勧めします。
- ・年が明けて共通テストまでの間は, 新しい問題集などに手をつけず今まで使ってきた問題集や参考書を使って復習した。
- ・共通テスト後は, 二次対策と(推薦の)面接対策をした。時事ノートを作って新聞記事を貼り, その下に自分の意見をまとめた。(本番では)私の知らなかったことも質問されたので, 日頃からニュースや新聞に関心を持つべきだと思った。
- ・グループディスカッションの練習を動画に撮り, 自分が下を向いていないか, はきはき発言できたか確認した。相手と戦うのではなく, みんなで討論を成功させるというマインドで臨んだ。
- ・部活引退後, 夏休みに入ると1日10時間を目標に勉強した。私は基礎ができていないと思い, 国・数・英を中心にやった。英語が苦手で模試結果を見ても圧倒的に足を引っ張っていたので, 英単語暗記, 長文2題を日課とした。すぐには結果が出ず, 何度も心が折れかけたが, 友人との気分転換や励ましでなんとか乗り切ることが出来た。本当に感謝しかない。
- ・第1志望の大学を推薦で受験したが不合格。今まで中途半端な勉強をしてきた自分を責めた。2月に入ると私立大受験などでクラスの女子は私一人となり辛かったが, 男子が「一緒に弁当を食べよう。」と声をかけてくれた。前期日程当日には「大丈夫! 安心して頑張ってください!」とたくさんのメールが。受験は自分と向き合う時間でもあり, 周りの思いを教えてくれる時間でもあった。これは本気で何かに挑まないとわからないものだと思う。
- ・受験は苦しいものでもあり, 自分の成長も感じられるものでもある。そのため, 最後まで走り続けて得られた達成感は, これから先の将来, 自分に対して自信を持つことが出来る。そして受験を終えた今, 支えてくれた周囲の人にとっても感謝している。



2025年度新課程入試について ～科目, 試験時間など変更あり～

新3年生が受験する2025年度大学入学共通テストは, 新教育課程での初めての入試となります。主な変更点は以下の通りです。

- ① 新科目「情報Ⅰ」が追加
- ② 地歴・公民の受験科目変更
- ③ 国語や数学②の試験時間が延長
- ④ 数学②で「簿記・会計」「情報関係基礎」が廃止。「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」に一本化

2025年度共通テスト時間割イメージ

1日目	2日目
9:30~11:40 (130分) 地理歴史・公民 (2科目) ※1科目受験者は10:40~	9:30~11:40 (130分) 理科 (2科目) ※1科目受験者は10:40~
13:00~14:30 (90分) 国語	13:00~14:10 (70分) 数学①
15:20~16:40 (80分) 外国語	15:00~16:10 (70分) 数学②
17:20~18:20 (60分) 英語リスニング	17:00~18:00 (60分) 情報

※2022年11月, 大学入試センター公表資料より